

とってもライトにコストパフォーマンスしてるポリフォニックシンセサイザーです。

¥99,800

コルグが実現した世界初の超コストパフォーマンスポリシンセ。
8ボイス、エディット機能付きの64メモリーに加え、
テープインターフェイス、ポリシーケンサー、MIDI端子を装備。
まさに機能満載のKORG POLY 800。
しかも、ピッチの安定性に優れた2系統のDCO、
3系統のDEGを装備し、
さらに6パラメーターのエンベロープで多彩な音づくりができる
新開発のA.D.B.S.S.R.方式を採用。

リアルな音が楽しめます。
そのうえ、完璧なライブパフォーマンスを演出する
ショルダーキーボードとしても使え、
楽しき使いやすさを2倍、3倍に広げられる
ポリフォニックシンセサイザーです。



おやつ、
シンセがパソコン
とつながってる。
これならいろいろ
できそうだ。

MIDI

MIDIとは MUSICAL INSTRUMENT DIGITAL INTERFACEの略。シンセサイザー、シーケンサー、パーソナルコンピュータ、リズムマシンなどを相互に接続するためのものです。
MIDI端子のついた製品であれば、1)キーボード2)ジョイスティック 3)シーケンサー 4)プログラムチェンジャーなど、データの送受信が可能です。

応用例



すごいライトでも
できるヤツ。
できてるすべてを
紹介します。

- 1 VOLUME** ボリューム
電源のON/OFFと音量を調整するスイッチです。
- 2 TUNE** チューン
ピッチを調整するスライドスイッチです。
- 3 JOYSTICK** ジョイスティック
左右に動かすと、鍵盤全体のピッチが上下します。上に向かすとDDOを調整しピッチアップ効果が、下に向かすとVCFを調整しワウワウ効果がかかります。

- 4 BEND** ベンド
ジョイスティックによってかかるピッチベンドの度合いを調整するスライドボリュームです。
- 5 SEQUENCER** シーケンサー
POLY-800を和音で自動演奏させるためのポリフォニックシーケンサーで、最大256ノートまで演奏させることができます。
- 6 KEY ASSIGN** キーアサイン
A POLY #1
8ボイスのポリフォニックシンセとして通常の和音演奏ができるモード。
B CHORD MEMORY コードメモリー
鍵盤上で押えられた和音(WHOLEモード)または音(DOUBLEモード)までの和音構成をメモリーし、ワンキーで平行和音演奏させるモード。
C HOLD キーホールド
POLYモードのとき、打鍵した音が出たままの状態になるモード。
- 7 PROGRAMMER** プログラマー
11-88の2桁のナンバーで、合計64のプログラムを選択できます。
D PROG PARA プログ/パラ
プログラムモードとパラメーターモードを選択するスイッチです。
E SAVE セーブ
F LOAD ロード
テープインターフェイスでプログラムの内容やシーケンサーのデータをカセットテープなどに録音し、ストックしたと押し出したするためのスイッチです。
G VERIFY べりファイ
セーブ後、プログラマーのデータがテープに正しく録音されているかを確認するためのスイッチです。
H CANCEL キャンセル
ロード、べりファイが誤った場合、このスイッチを押す、再び操作します。また、セーブ、ロード、べりファイの操作を途中で中止させることができます。

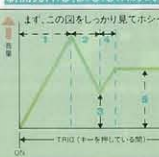
- I WRITE** ライト
プログラムにデータを書き込むためのスイッチです。
J VALUE バリュー
UP スウィッチ、DOWN スウィッチによって、バリュー(各パラメーターのセッティング)を表す数値を設定します。
K BANK HOLD バンク ホールド
プログラムモードのとき、このボタンを押すとプログラムナンバーの左側の数字がホールドされ、下桁の数字がカウントされます。
L INDICATOR インジケーター
M DCO1,2
DCO1は、DCO1に設定したオクターブにあって半音ずつピッチを変えることができます。
N MODE モード
POLY-800を8ボイスで演奏するときはWHOLEモード、4ボイスで演奏するときはDOUBLEモードに切換えます。
O NOISE ノイズ
ホワイトノイズ
P VCF
-24dB/OCTの高性能フィルターを内蔵。鍵盤を押すこととVCFが働くにつれ、はじめに鍵盤を押したときだけVCFが強くシンクルなどの、トリガーモード切換えが可能です。また、鍵盤の信号に比例してカットオフ周波数を変化するキーボードトラック、DEG 3の出力を反転調整できるEGモード切換えも可能です。
R DEG1,2,3
エンベロープに新開発のA, D, B, S, S, R.方式を採用。従来のA, D, S, R.に比べ、ピアノの音や弦を弾いた音をリアルに再現できます。また、1秒スローに2回、1EGを重複しているため、ピアノの音はぐんぐんとした立ち上がり、ハイオールの音を同時に出すことができます。
S MG
DDOとVCFを調整するモジュレーションジェネレーターです。DDOを調整するとピッチ、VCFを調整するとワウワウ効果がかかります。
T MIDI イディ
POLY-800をパーソナルコンピュータ、MIDI端子のついた他のシンセサイザーなどと接続して使うことができます。

- 1** 7ボイスのシンセサイザーを1回でコントロール
- 2** 2ボイスのシンセサイザーを相互にコントロール
- 3** シーケンサーまたはインターフェイスがパーソナルコンピュータ、シーケンサー、リズムマシン、キーボード、ジョイスティック、ジョイスティック、シーケンサー、パーソナルコンピュータ、リズムマシンなどを相互に接続するためのものです。



おつ、新しい！
音づくりもますます
多彩になる
6パラメーター。

新開発A.D.B.S.S.R.方式



- 1 ATTACK** アタックタイム
打鍵してから音量が最大になるまでの時間を調整します。
- 2 DECAY** デカイタイム
アタックタイム終了後からサスティンレベルまで音量が下がる時間を調整します。
- 3 BREAK** ブレイクポイント
アタックタイム終了後のレベルポイントを決める新しいパラメーターです。ディカイタイムに従って減衰して行く音量を調整。また、ブレイクポイントとサスティンレベルを一致させれば、従来のA.D.S.R.と同じになります。

やったね。
和音の自動演奏が
できるんだって。

ポリシーケンサーの書き込み方法

書き込むフレーズの最小音符を決め、すべての音符を最小音符単位で書き込みます。
① ♩ ♪ ♫ ♬ ♮ ♯ ♭ ♭♭ ♭♭♭ ♮
次の音符を書き込んでみましょう。この場合は、16分音符が最小音符単位です。
② リアルタイムにあるWRITEスイッチをENABLEにセットします。
③ START/STOPスイッチを押します。
④ の鍵盤を押したまま、STEPスイッチを3回押し、離します。鍵盤を押した時点で16分音符がひとつからSTEPスイッチを3回押すことで、16分音符が3つ分、つまり4分音符が書き込まれたこととなります。インジケーターのステップ数が300Nになったことを確認してください。

- 5 SUSTAIN** サスティンレベル
スロープタイム後、鍵盤を押したときそのまわり続ける音量を調整します。
- 6 RELEASE** リリースタイム
離鍵盤に音が消えるまでの時間を調整します。

これでもうできる
思いのままにポリシンセ。
音づくりの仕方

- 1 POLY-800にメモリーされているプログラムのなかから、つくりたい音色に比較的似ている音を選び出します。
- 2 プログラマーセクションのPROG/PARAスイッチをPARAに切換えます。
- 3 パラメーターインジケータを見ながら、音づくりに必要なパラメーターのナンバーを指定します。また、VOFのON/OFFを指定する場合、ナンバーセレクトボタンで決めます。
- 4 VALUEセクションのUP、DOWNスイッチを押してバリューを調整します。
- 5 ひとつのパラメーターのセッティングが終わったら、3と4の操作をくり返して、他のパラメーターのセッティングをし、音づくりをします。



とってもライトに
セレクトできます。

KORG POLY 800

PROGRAMMABLE POLYPHONIC SYNTHESIZER KORG POLY-800

とにかく一刻も早く
使いたい君に、
耳よりなお知らせです。

サウンド・データテープ

- サウンド・データテープを使えば64種類の音色をワンタッチでセレクトできます。すぐに音づくりができる人にも、コルグがつけたオリジナルサウンドで、本格的な演奏が楽しめます。
- データをプログラマーにロード(呼び出す)する方法**
- 1 リアルタイムのTAPE FROM端子とテープコーダの出力端子を接続し、テープコーダの音量によって、HIGH/LOWをセッティングします。
 - 2 テープをスタートし、リアルタイムのTAPEスイッチ、WRITEスイッチをDISABLEにもどします。
 - 3 リアルタイムのTAPEスイッチ、WRITEスイッチをENABLEにセットします。
 - 4 LOADスイッチを押します。
 - 5 テープを再生します。
 - 6 ロードが完了して行くと、インジケーターがGO ON(グッド)を表示します。
 - 7 テープをスタートし、リアルタイムのTAPEスイッチ、WRITEスイッチをDISABLEにもどします。
 - 8 インジケーターの表示がエラーになった場合は、CANCELスイッチを押してテープコーダの音量を調整して、もう一度3-5の操作をします。

